

地方創生推進交付金事業 効果検証シート

地方創生推進交付金事業 効果検証シート①

事業名	「地方で輝く」を見つける”しごと”の移住プロモーション事業（市事業名：佐野暮らしとラーメン店創業支援事業）							
担当課	総合戦略推進室	事業実施年度	令和元年度～ 令和5年度	佐野市まち・ひと・しごと 創生総合戦略基本目標の該当	安定したしごとをつくる 新しい人の流れをつくる	実施方法	直営	
事業の概要	移住に必要な「仕事」として佐野ら一めん店の創業に向けた移住・修行・開業までを多角的に支援する「佐野ら一めん予備校」を組織し、確実に移住者を獲得する。また、佐野ら一めん業界が現在抱える店主の高齢化による後継者不足の問題に対し、創業を目指す移住者とのマッチングを図り、佐野ら一めん業界の衰退を抑制する。 さらには、市民や関係団体で組織する佐野ら一めん予備校が、将来自走化できる体制づくりを支援する。					予算状況	総事業費（千円）	127,100
							交付金額（千円）	63,550
							一般財源（千円）	63,550
重要業績評価指標 (KPI)	指標名称		令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	達成状況の説明			
	KPI①	本事業を活用して本市に転入した移住世帯数	45 世帯	2 世帯	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、研修が延期になったため、目標値を大幅に下回った。			
	KPI②	本事業に参画する企業・団体数(団体)	50 団体	51 団体	本事業について、市内の企業や団体に賛同と相互協力を提案することで参画する企業・団体数が増加した。			
	KPI③	本市への移住相談件数	200 件	430 件	HPやSNS等による周知を効果的に行うことで相談件数は、目標値を大幅に上回った。			
	KPI④	本市への転入者数	4,100 人	3,373 人	地域間移動を促す就業や進学等の機会で活発に移動する若年層の存在が減少している。			
活動状況	佐野ら一めん予備校の基礎研修プログラムは、第2期生から第5期生まで4回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、研修が延期になったことによる参加辞退等があり、結果として第2期と第5期の2回の実施となった。プログラム内容については、商工団体や金融機関、既存の佐野ら一めん店主などの協力を得ながら、協力体制の整備と内容の充実を図った。 また、基礎研修終了後は、修行先の紹介や開業するための移住や創業支援を行った。			主な効果	令和3年度は、基礎研修に11名の応募があったが、辞退等により3名が受講した。受講者のうち2世帯（7人）が移住した。（残り1名は、令和4年5月に移住） また、第0期生と第2期生の2人の受講生が、独立開業し、佐野ら一めんの人気店となった。 これらの実績に伴い、ニュース番組をはじめ、テレビ、ラジオ、新聞等で本プロジェクトが報道されたため、効果的な事業の周知、コンスタントな応募継続に繋がっている。			
取組の検証	改善余地の検証	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、研修の延期や募集の中断などで計画どおり実施ができなかったため、継続的に研修を実施する必要がある。また、KPI達成に向けて、移住と独立開業のサポートをするのに必要な人員が不足している。						
	今後の方針について	移住者の増加や本プロジェクトの自走化に向けて、研修内容の改良や予備校ならではの商品開発などを進める。また、地域おこし協力隊を設置したが退任となったため、再募集を行いマンパワーを強化する。						

地方創生推進交付金事業 効果検証シート②

事業名	「佐藤さんゆかりの地」聖地化による関係人口増加プロジェクト（市事業名：「佐藤さんゆかりの地」聖地化プロジェクト事業）							
担当課	総合戦略推進室	事業実施年度	令和元年度～ 令和5年度	佐野市まち・ひと・しごと 創生総合戦略基本目標の該当	安定したしごとをつくる 新しい人の流れをつくる	実施方法	直営	
事業の概要	<p>全国に200万人いるとされる「佐藤さん」を対象に、佐野市にそのルーツがあるとして「関係人口」を募る仕組みを設け、地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する。</p> <p>「唐沢山城跡」を佐藤姓の聖地と位置付けるとともに、伝統工芸「天明鋳物」を佐藤姓と同じ由緒をもつものとして、様々な事業を展開していくことで、「佐藤さんのふるさと」として関係人口を獲得するとともに、「ふるさと納税」や「企業版ふるさと納税」による財源を確保し、「佐藤さん組織」の自立的運営により唐沢山城跡と天明鋳物の再興も推進する。さらには、本市を訪れる佐藤の会会員を市内の事業者や団体がもてなす組織「佐藤さんおもてなし隊」を設立し、各隊員による様々なサービスを提供する。また、本市の魅力の発信と併せて、市民との交流を促し、将来の移住・定住の促進につなげる。</p>					予算状況	総事業費（千円）	92,474
	交付金額（千円）	46,237						
	一般財源（千円）	46,237						
重要業績評価指標 (KPI)	指標名称		令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	達成状況の説明			
	KPI①	佐藤さん組織の会員数	5,000人	4,093人	佐藤の会を令和2年3月10日（佐藤の日）に設立し、募集を開始した。事業全般がオンラインとなったため、目標値を下回った。			
	KPI②	観光入込客数	9,000,000人	6,503,000人	新型コロナウイルス感染症拡大により、目標値を大幅に下回った。			
	KPI③	本事業に賛同する方の寄付金、賛助金等の額	2,000,000円	0円				
	KPI④	本事業に賛同し、企業版ふるさと納税を行う意思を表明した企業・団体数（3年目以降）	5団体	0団体				
活動状況	<p>(1)「佐藤の会」の運営 会員管理、公式HPの運用、ポスター、リーフレット作成等</p> <p>(2)「佐藤さんゆかりの地」の積極的なプロモーション SNSの発信、動画作成、テレビ番組作成・出演等</p> <p>(3)イベントの開催 ・モバイルスタンプラリー 2回 ・イオンモール佐野新都市 栃木フェア出展 ・佐藤の会オンラインツアーの開催等</p> <p>(4)「佐藤さんおもてなし隊」の運営（隊員管理、募集等）</p>			主な効果		<p>積極的なプロモーション、オンラインイベントの実施により、多くの会員数やSNS等のフォロワー数を獲得した。</p> <p>また、佐藤さんおもてなし隊の総会やおもてなしMAPの作成等の活動を通して、市民主導による機運の醸成が図れた。</p> <p>更には、ふるさと納税返礼品について、佐藤の会に賛同する企業との共同でオリジナル商品を製作し、活用することができた。</p>		
取組の検証	改善余地の検証	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、オンラインから直接人を集める事業実施でPR効果を高めることができる。また、佐藤の会としての磨き上げと、おもてなし隊のさらなる充実を図ることで、会員数や隊員数の獲得につなげていく。						
	今後の方針について	運営の自走化や更なる会員獲得に向けて、これまでの施策を継続しながら、「佐藤さんゆかり」の唐沢山城跡や天明鋳物を中心として、会員同士の絆や地域交流を深化させる施策を展開する。						